

2024 年度ひの自然学校 宿泊型キャンプ 保護者資料

【集合解散について】

- ★集合・解散場所はコースにより異なります。しおりを参照ください。
- ★解散時間は、天候や交通状況によって若干前後することがあります。
お迎えの際ご心配な場合は、センターに電話確認のうえ、お願いします。

出掛ける先と宿泊について

はじめてキャンプ	【八王子市立 タヤけ小やけふれあいの里】 東京都八王子市上恩方町2030番 042-652-3072 里山の間に挟まれた、自然溢れる管理されたキャンプ場です。 場内には充実したキャンプ設備や原っぱや川などがあり、自然を思いっきり楽しむことができます。 昨年までテントで泊まっていたコースですが、近年の熱帯夜への対応を強化し就寝時のみ冷暖房完備の施設の中で過ごします。部屋は男女別大部屋です。 ※入浴の計画は予定していません。
清里大草原キャンプ ベーシック アドバンス	【山梨県立ハケ岳少年自然の家】 山梨県北杜市高根町清里 3545 0551-48-2306 標高約 1,200mに位置する施設は、夏でも爽やかに夜は羽毛の布団を使うほど。 敷地の広さも 14ha（ディズニーリゾート 2 個分くらい）あり、広さを遊びつくそう！ ベーシック・アドバンスともに子どもキャンプに適した充実した施設です。 ベーシックは施設泊、アドバンスは場内の常設テント泊です。 1～3 年生は男女混合の班ごとの部屋（リーダーも一緒）、4～6 年生は男女別の部屋で宿泊です。 ※ベーシックは入浴付き アドバンスは希望によりシャワー利用です
ヤマモリキャンプ in 赤城	【前橋市赤城少年自然の家】 群馬県前橋市富士見町赤城山 1-2 ☎027-287-8227 赤城大沼のほとりで近くの山に囲まれた自然豊かな場所に出かけます。施設の管理する森林の中でキャンプやツリークライミングなどできます。また施設を少しするとハイキング～縦走可能な山までが近くにあり、参加する子どもたちに合わせた活動が可能なエリアとなっています。 施設泊でお風呂もあります。男女分かれた大部屋で寝ます。

【保険について】

活動中に発生した事故・怪我などに関して保障のため、活動中は以下の国内旅行傷害保険に加入して活動を進めております。

1. 有効期間 活動参加実施期間中
2. 適用範囲 ①活動中の傷害
②活動のための集合・解散場所と被保険者宅との経路における傷害
3. 補償内容
①傷害保険
◇死亡・後遺障害 最高 1,000万円
◇入院 一日あたり 4,500円
◇通院 一日あたり 3,000円
②賠償責任保険 3,000万円
③携行品 5万円(自己負担 3,000円)
4. その他

- *入院・通院ともに、治療日数は1日目から支払い対象となります。
- *補償期間は、通院初日から180日間（約6ヶ月）のうち最高90日までとなります。
- *現地で事故の場合、治療費については自己負担となります。後日センターから請求させていただきます。領収書などは必要となる場合もありますので大切に保存ください。

【持ち物について】

持ち物の詳細についてはしおりをご覧ください。

※全ての持ち物に「名前」を書いてください！！
⇒特に低学年のお子さんや、無くしやすい小物には必ずご記名をお願いします

☆持ち物のポイント

①水あそびの際の靴について

水あそびは必ず靴を履いて行きます。石や岩で足が傷つくことを防止すると共に、万が一濡された場合、靴が大切な浮力となります。サンダルやクロックスのようにかかとが外れやすいものではなく、運動靴やウォーターシューズ、学校の上履きなどを持参してください。



②荷物を入れるカバンについて

キャンプ場の宿泊地までは子ども達は自分の荷物を運んで歩きます。荷物を収納するカバンは、ドラムバックなどの肩掛けよりもリュックサックタイプのカバンをおすすめしています。

「自分のことは自分でやる」体験を成功させるポイントは、お家の人がパッキングをして 7 割程度の容量で収まるリュックが理想的です。

③洋服の収納について

洋服をカバンに収納する際は、パンツ・シャツ・ズボン…などと種類ごとに収納されるよりも、「長袖長ズボン」・「寝る前」・「〇日目の朝」・「予備」など、その日着る洋服をセットして収納すると子ども達も迷うことなくスムーズに着替えができるようです。ビニール袋にはマジックで「〇日目・予備」と書いてください。また、防寒具やパジャマなどを代用が効くものは工夫次第で荷物を減らすことも可能です。

④パッキング（収納）はお子さんと一緒に行ってください。

カバンに荷物を収納する際は、子どもたちと一緒に「どこに何が入っているのか」を確認しながら準備をしてください。キャンプの準備から一緒に楽しんでみてください♪

⑤持ち物リスト「長そで・長ズボン」について

キャンプ場は特に夕方以降、ブヨや蚊などの虫が現れ、刺されることでかゆくなったり、場合によっては腫れてしまう事があります。その対策として「長そで・長ズボン」を着用することがあります。なるべく肌の露出しない丈の物をご用意ください。気温帯によって衣服は調整しますが、夜の防寒としても使用しています。

参考) 標高 100m 上がるごとに気温は 0.6℃下がります。

天候により夏場でも夜や日中に冷える場合があります。予備で防寒着（フリースなど）を 1 枚はカバンの中に用意してください。

※ご不明な点などございましたら、お気軽にひの社会教育センター（ひの自然学校）までお問い合わせください。

ひの社会教育センター ひの自然学校のキャンプで大切にしたいこと ～イベントポリシー～

ひの自然学校では、参加する子どもたちが自ら主体的に考え、挑戦する気持ちを大切にプログラム運営をしていきます。また、「じぶんのことは、じぶんでする」こと、「集団で生活する楽しさを感じる」こと、「自然の中に飛び出して活動することを通して、身近な自然への気づきや自然を大切にすることを養う」ことを目指し、指導者（リーダー）は様々な投げかけをしていきます。

【イベント中の安全管理について～楽しいキャンプはまず安全から～】

キャンプでは、自然を相手にした沢山の楽しい遊びが待っています。それは子ども達にとって心揺さぶられるような経験やチャレンジする内容のものまで多岐に渡ります。しかし、体験活動の楽しさと常に隣りあわせなのが「リスク（危険）」です。

安全なキャンプを運営するために、スタッフは事前の計画・或いは当日にリスクをできるだけ低く、安全・安心に子ども達が生き生きと活動できるような安全管理を優先した運営を心がけています。しかし、自然の中の活動では不測の事態が起きる可能性があること、アウトドア活動はそもそも一定のリスクを受容しながら行われるものという大原則についてはご承知おきの上で参加ください。

【引率のスタッフについて～どんなリーダーと過ごすのかな？～】

引率のスタッフは、当センターの専門職員と、大学生や社会人のボランティアリーダーで構成されています。キャンプを楽しく安全に、思い出に残るものにしたいと願う、子どもと一緒に活動することが好きなスタッフで運営いたします。

また、スタッフは活動に伴い事前に安全管理や、キャンプの生活技術、救急法等の研修などを積んで臨みます。

【保護者の皆様へのお願い】～より楽しく充実なキャンプにするために～

☆健康管理について

～非常に重要です！必ずご確認ください～

事前調査票やけんこうチェックリスト等は特に既往症や薬の使用等についてなるべく詳しくご記入ください。

健康管理上の重要な情報になります。喘息等については、環境の変化で発作が起きる場合も過去にありましたので、ご協力お願いいたします。

また、常備薬を飲む必要がある場合は、それぞれの名称と服用のタイミング、服用方法を細かく「けんこうチェックリスト」にご記入ください。

～生活面での指導についての基本的な考え～

キャンプ生活における、生活面で必要なスキル（例えば着替えや荷物整理など）については、「自分のことを自分でする」点を大切にしています。担当のリーダーは、一人ひとりに向き合い、ゆっくりと取り組めるように支援・配慮をしますが、特に安全上必要と判断しない限り、「強制的にやらせる」ということはしない方針で運営しています。

十分に注意を払いながら進めてまいります。現状での「子どもたちの生活レベル」としてご理解ください。

【こんなこと、あんなこと大丈夫かしら…??Q&A】

～Q:初めての泊り…夜さびしくならないかしら…??～

～A:夜の天敵「ホームシック」について…～

親元を離れ、「一人」でお泊りをする。それは子どもにとって、大きな「チャレンジ」になることでしょう。お昼はお友達と楽しく遊んで、元気いっぱいハイテンションなのに、夜ふとした瞬間に我にかえってお家の人が恋しくなってしまう…よくある話です。

基本的には、その寂しさにも打ち勝って一人で泊まることも大切なことと捉えていますので、リーダーがフォローしながら、ゆっくり様子を見ていきたいと考えています。しかし、現地の判断で夜遅くにお家の方へ電話をさせていただく場合もあるかと思えます。その際は、一生懸命頑張る子ども達に優しい声かけをお願いします。

～Q:現地でトラブルが起こった際は、どうなるのでしょうか?～

～A:万が一の事態に備えて～

万が一不測の事態が発生した際は、事前にお知らせいただいた緊急連絡先にご連絡いたします。イベント中は緊急連絡先の電話に出られる状態を保っていただきますようよろしくお願いいたします。

～Q:活動中、子どもたちはどんな様子で過ごしているのかしら??～

～A:キャンプ中の様子・気になるものですよね～

活動期間中の連絡は全てひの社会教育センターを通じて行います。特別な場合を除き、活動期間中の参加者とご家族との直接の連絡はできません。

⇒キャンプ時の状況報告は、夕方、現地よりセンターへ連絡を入れます。

様子が気になる場合は、センターへお問い合わせください。

また、活動の様子を1日の終わりにブログにアップしてご報告しております。

センターの青少年ブログ「すまいるキッズ」にアクセスをしてご覧ください。

PCから：<http://smilekids.sblo.jp>

QRコードから→



○各コースお申し込みいただいたページより、説明会動画をご覧ください！

各コースの詳細や持ち物の説明、パッキングのコツ、よくある質問など活動開始前までにご覧いただくと当日をスムーズに迎えることができる内容が詰まっています。またひの自然学校が大切にしているLNT（環境倫理）についておはなししています。

QRコードもしくは下記URLよりぜひご覧ください。

<https://www.hino-shakyo.com/summercamp/faq/>



【お問い合わせ窓口】

ひの社会教育センター 『ひの自然学校』

住所：日野市多摩平 3-1-13 電話：042-582-3136